

メンバー全員で逆転ゴールを喜び 撮影＝佐藤佑樹(経済3)

大健闘

■ サッカー・天皇杯 ■

専大サッカー部が、27年ぶりに天皇杯全日本サッカー選手権大会に出場した。1回戦(8月19日、レモンガススタジアム平塚)で筑波大に2-1で勝利。2回戦(8月26日、三協フロンテア柏スタジアム)はJ1所属の柏レイソルを相手に1-2で敗れたものの、粘り強い守備と果敢な攻撃で善戦し、オール専修に勇気を与える戦いを見せた。



豪快なミドルシュートを突き刺した岡田 撮影＝佐藤



1回戦 逆転で筑波大に勝利

27年ぶり出場

神奈川県代表決定戦(8月1日、ニッパツ三ツ沢球技場)でJ3所属のSC相模原に1-0で勝利したサッカー部。迎えた1回戦で昨年度の全日本大学サッカー選手権大会王者の筑波大と対戦した。前半から押し込まれる時間が続き、0-1で試合を折り返した。しかし、後半40分にFW塚越幹太(経済4・専大松戸高)が同点弾を決めると、

直後の後半43分にFW那須奏輔(経済3・東海学園高)のゴールで逆転に成功。途中出場の2人が終盤に試合を動かし初戦を突破した。柏レイソルとの2回戦も守備の時間が続いたが、GK上林真斗(法4・昌平高)を中心に粘り強く対応した。2点のビハインドを追いかける専大は後半7分、MF岡田海人(法4・浜松開誠館高)が相手のボールを奪って右足を振り抜く。放たれたミドルシュートはゴール左隅に突き刺さり、1点を返したが、そのまま試合終了となった。天皇杯の激闘で得た経験と自信を糧に、関東大学リーグ戦で1部復帰に挑む。(作田夏楓・文2)

専大スポーツ

【専大スポーツ】<https://www.senshu-u.ac.jp/sports/>

No. 476

専大スポーツ 編集部 公式 WEB

掲載記事を含む全文はコチラ↑

X @sensuponow

Instagram sensuponow

グレコローマン60kg級で徳原誠馬(文4・高知東高)が初優勝を勝ち取った。昨年準優勝の徳原がリベンジを果たした。「勝ちに徹しながら戦った」と言う決勝は、前半を3-0で終えると、後半もポイントを重ね、後半もポイントを重ね

全日本学生レスリング選手権大会(8月20-23日、世田谷区・駒沢総合体育館)

グレコ 60kg級 徳原 初優勝

ね、相手の反撃も1点に抑え込んだ。大会終了後、開

口一番に「昨年の成績を超えられて安心した」と安堵の表情を浮かべた徳原。「出場していない実力者もおこな進歩を見せた。グレコは、井上隼佑(商4・飛龍高)が63kg級で準優勝、湯浅堅斗(経営2・樟南高)が55kg級で3位に入賞。フリースタイルは、徳原が61kg級で、上村律心(経済4・高知南高)が65kg級とともに3位となった。表彰台に立った4人は、各種目で12月の天皇杯全日本選手権の出場権を獲得した。(佐藤写真)



決勝戦も冷静に試合を進めた徳原



代表して優勝旗を手にする首藤成美(文3) 撮影＝君嶋悠樹(経済3)

11年ぶり 栄冠

卓球部 女子

全日本大学総合卓球選手権大会(団体の部) 7月15-18日、横浜市・横浜武道館

卓球部女子が、準決勝で愛工大、決勝で日体大に勝利し、11年ぶり16回目となる全日本一の栄冠を手にした。個人戦全勝で殊勲賞に選ばれた島村果伶(文1・桜丘高)も「自分のプ

横浜軍人高)らルーキーの活躍が、チームを悲願の優勝に導いた。島村が「どんな場面でもしっかりと自分から押し込むことができ」と話すと、田畠(文1・桜丘高)も「自分のプ

55kg未満級 平口 2大会連続V

全日本女子相撲岐阜大会(7月19日、岐阜県・岐阜メモリアルセンター)相撲場



平口幸芽(経営1・静岡商業高)は写真1が一般の部55kg未満級に出場。トナメントを見事に勝ち抜き、2大会連続で全国優勝を果たした。

「学内のジムで筋トレを頑張った」と、今大会に向けてウエイトトレーニングにも力を入れていたという平口。「自信を持って、落ちていて相撲を取ることができた」と笑顔で話した。河本優心(経済2・鳥取城北高)は一般の部65kg未満級でベスト8となった。(作田)

箱根駅伝予選会

10/17(土) 8時30分スタート



撮影＝能勢優斗(商1)

第103回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が10月17日(土)、東京都立川市で開催される(8時30分スタート)。夏合宿で厳しいトレーニングに励んできた選手たち。2年ぶりの予選会突破を目指す陸上競技部に大きな声援をお願いしたい。